



—守永 清—

(この道ひとすじに

で簡単にテストできるようになつた。特に、くきび試験機は、画期的な試作として全国鋳物組合の推せんをうけ、業界で最も重宝がられている。

鑄物業界に、いま近代化の波が押し寄せてゐる。七月から構造改善事業に、業界あげて取り組む。守永さんらの陰の力がみのつて、業界は重い腰を上げたのである。「バイオニアとしての苦労がむくわれる時がやつてきた」「せひ、うちに…」

県工業試験場

昭和四十二年　わが国初の「くさび試験機」の試作に成功。昭和四十三年、同じく「音波試験機」を紹介。

昭和四十二年　わが国初の「くさび試験機」の試作に成功。昭和四十三年、同じく「音波試験機」を紹介。

「とにかく実力のある人ですね。工業技術院の会に二度も研究発表。耳の悪さというハンディを完全にカバーしています」泉名栄一工業試験場機械金属部長

にうちこんできた。
昭和三十六年、球状黒鉛
鋳鉄の製造法を業界に普及
から球状に改良することに
より、铸物の強度と粘りを
高めたのである。

てくれますね。戦後、外国技術の導入でとまとめていたとき、守永さんの指導はありがたかった」旭鑄造・石田豊一さん。

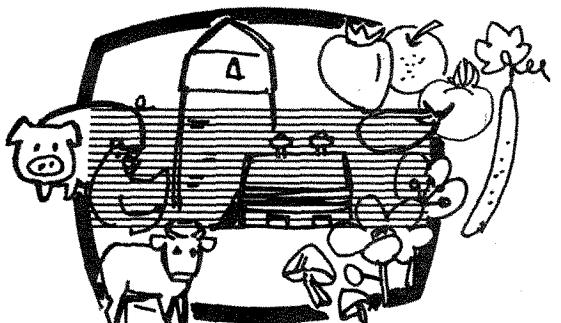
守永さんがはいったのは昭和二十七年。以来、機械金属部で铸物研究ひとりにうちこんできた。

命でもあつた。
「たいていの人なら、うしたらどうか」“といふ
が、守永さんは、こうせよよこ”“という。自分の研究に
自信を持っている証拠です
ね」和歌山鑄造・垣内良造
さん。

昔は鍋（なべ）釜（かま）で親しまれ、現在は、家庭用品から工芸品、各種産業工作機械にと幅広い分野に使用される鋳物。その鋳物の研究にかけては、守永清太郎が試験場機器一昨年に輝いた。



電波つなぐ茶の間と県政



紀州アルバム

南紀の観光開発

毎日テレビ
6月13日・20日 8:00~8:15

四国テレビ
6月14日・21日 7:45~8:00

知事と語る おしどり教室

かつらぎ町大谷にある農家の若夫婦たちによる近代農業の学習グループ
毎日テレビ 6月27日・7月4日 8:00~8:15
四国テレビ 6月28日・7月5日 7:45~8:00
広報アワー 県政の動きとお知らせ
日曜日を除く毎日 12:30~12:35

県民の友

本県織維産業は地場産業の第一位を占め、その実質対米輸出額は生産額の約半分を占めています。

米国からわが国に対し、織維製品の対米輸出自主規制を要求しているが、これは世界貿易の縮小をまねくとともに国際協調をそこなうことになる。

福社年金の大幅な緩和を図つてほしい。

国民生活水準の向上や物価高に比べて福社年金の給付水準はきわめて低く、そのうえ所得によって制限をうけてくる現状である。

主規則反対について

○織維製品輸出自由化規則反対など

○福社年金について

○中小都市の地下横断歩道設置に対する国庫助成について

○走行距離を加味した警察車両の更新について

○運動県民相談室

○新規則反対について

議会より

対米織維製品輸出自主規制反対など

—関係大臣へ六意見書—

三十数をはるかに超えてお

うな趣旨の意見書が議決され、それに関係大臣などに提出されました。

○中小企業における法令の機械設備耐用年数短縮について

○和歌山県域テレビ放送設置について

○県中小企業経営振興協会をご利用ください

○新規則反対について

畜産試験場を見おろす山

畜産試験場

畜産試験場では、その後、研究施設

畜産試験場での研究成果の伝達②経営技術などの短期研修③講習会④家畜の飼養管理と経営技術の相談・指導⑤畜産関係学生の実習などを予定しています。

○和歌山県域テレビ放送設置について

○新規則反対について

○新規則反対について

○新規則反対について

畜産經營などの技術研修の場として西牟婁郡すさみ町見老津の県畜産試験場に「畜産研修館」が完成しました。



畜産研修館の導入の場に技術導入の場に

の充実とともに一頭千五百万円の米国産の種雄牛を購入したほか、イノシシとアカウサギをかけ合わせたイノブタの開発や、放牧場を拡張して林間放牧に

好成果をあげるなど、全職員が一丸となつて研究開発に取り組んでいます。この

ためか同場を観学に訪れる関係者はひきこもっています。この畜産研修館

の完成で、砂利のデコボコ道でしたので、補修、掃除も完備されています。

当時は、砂利のデコボコ道でしたので、補修、掃除も完備されています。

五年前、道だけでなく、地区全体を美しくしようと落ち着けて新しい経営技術を教えてもらえる」と期待されています。

私たちの会の名は「北吉田道路愛護会」といいます。結成は古く、昭和二十五年一月。おもに地区内を縦貫する県道玄子小松原線を通りやすい道

にしようという目的でつくられました。故郷がなかなかいいと、いつも手紙をくれます。

私たちの会の名は「北吉田道路愛護会」といいます。結成は古く、昭和二十五年一月。おもに地区内を縦貫する県道玄子小松原線を通りやすい道

にしようという目的でつくられました。故